

7月~10月 稚魚の飼育

飼育において一番大変なのは、稚魚の世話です。孵化すると、水槽の底の砂利を粒ずつピンセットで取り除き、隠れている稚魚がないか水槽の中をくまなく探します。稚魚は小さい水槽に分けて飼育し、毎日水槽の水かえとエサやりをします。特に稚魚が小さいうちは神経を使うとても大変な作業です。

超えるほとんど死亡することなく元気に成長していく傾向にありました。そのためエサとなるアルテミア（フランクトン）を小さな稚魚が安全に食べるこなどができるよう処理して与えるなど、毎日2時間ほどかけてエサを準備し、稚魚の成長を見守りました。

誕生した稚魚の生存率を研究したところ、孵化後1か月までは一定の死亡率でしたが、1か月に

ネコギギのシンボル“ヒゲ”が見えます!

③26日目



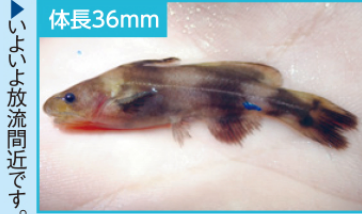
▲成魚と同じような体側のまだら模様がよくわかるように。

④38日目



▲成魚とよく似た形態になりました。

⑤125日目



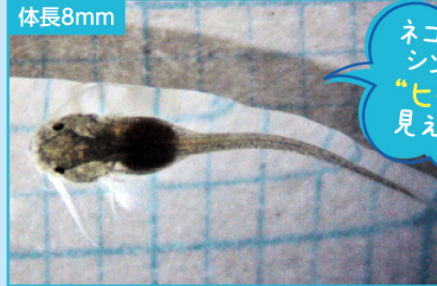
▲いよいよ放流間近です。

①孵化したての稚魚



▲孵化したばかりの稚魚は体長4mmほどとても小さく、まだ泳げません。

②孵化後7日目



▲方眼メモリの上で計測します。2017年は孵化してから毎日、体長を記録したので、初期の成長速度を調べることが出来ました。

10月 放流

稚魚が4cmほどに成長する10月頃は、台風が落ち着き放流の時期となります。飼育がはじまった2017年に誕生した稚魚は9匹でしたが、何度もベアリングを試して配偶行動を成立させるなど、さまざまな工夫をしたこともあり、2019年は115匹の稚魚が誕生しました。そのうちの96匹と、親魚9匹を放流しました。

放流をするときは、ネコギガたちが部屋から居なくなってしまうのだなと寂しくなる半面、無事にここまで育ってくれて嬉しくもあり、自然界でも元気に育ってほしいと思いました。また、放流するときに川で元気に泳いで行く様子を見て感動しました。



ひぐち はると 樋口 青杜さん

学校で誕生し放流したネコギギに調査で再会するという嬉しい機会もありました。久しぶりの再会に「元気に育ってくれて良かった」とネコギギの親になったような気持ちになるそうです。



※日本魚類学会の放流ガイドラインに則り放流します。

3年間 系統保存

鈴鹿川水系のネコギギを絶滅させないため、一部の稚魚は放流せずに3年間、系統保存個体として引き続き飼育をしていきます。成長のようすをさらに詳細に記録していき、今後もネコギギの生態の解明に貢献していきます。

三重県内の環境活動に取り組む高校

高校名	活動
1 桑名高等学校(桑名市)	アントシアニンの探求
2 川越高等学校 自然科学部(川越町)	北勢地区におけるマイクロプラスチックの分布調査
3 四日市高等学校 SSH生物部(四日市市)	三重県南部の岩礁域の調査
4 四日市中央工業高等学校 木工部(四日市市)	小さな循環型社会と木工技術の伝承
5 四日市中央工業高等学校 理科部(四日市市)	池干し・外来種駆除活動 / はるかのみまわり絆プロジェクト
6 四日市西高等学校 自然研究会(四日市市)	鈴鹿山麓フクロウ保護プロジェクト
7 四日市農芸高等学校 自然環境コース(四日市市)	授業全体を通して環境活動に幅広く取り組む(自然環境調査・竹林整備等)
8 四日市四郷高等学校 自然科学部(四日市市)	登山の魅力はどこにあるのか
9 学校法人高田学苑 高田中学・高等学校(津市)	産学連携による環境学習 CO2濃度測定
10 津商業高等学校(津市)	環境問題「新しい時代に若者の生き方を考える～人口のドーナツ化から都心回帰、そして限界集落の再興～」
11 久居農林高等学校 環境保全コース(津市)	アゼオギリ保全活動
12 学校法人三重高等学校 三重中学校・三重高等学校 科学技術部(松阪市)	松名瀬干潟における生物相調査及び観察会
13 学校法人三重高等学校 三重高等学校(松阪市)	「大台町(旧宮川村地域)での学び」
14 相可高等学校 生産経済科(多気町)	アゼオギリ保護活動
15 名張青峰高等学校 科学部(名張市)	インクラゲの生態
16 学校法人皇學館 皇學館高等学校 自然科学研究部(伊勢市)	身近な野草の共生関係と自然環境
17 宇治山田高等学校 生物部(伊勢市)	宮川水系の水質調査と地域の環境問題に関する探究活動/みんなで創る「南勢地域生物図鑑&生物マップ」
18 水産高等学校 生物部(鳥羽市)	英虞湾のいきもの調査
19 尾鷲高等学校(尾鷲市)	地域活性化を考える「まちいく」の実施

高校生、頑張っています!

鈴鹿高等学校自然科学部の活動を多くの人に知ってもらい、ネコギギだけでなく鈴鹿川流域や、その源である鈴鹿山脈の自然環境にまで目を向けてもらうきっかけになればと思います。

写真提供 鈴鹿高等学校自然科学部

●詳細については、高校名・活動名で検索ください